

(様式 5 : 全対象事業共通)

令和6年度第1回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	北海道寿都町におけるCO2フリーの循環型地域社会づくり促進
補助事業者名	寿都町
補助事業の概要	令和5年度に策定した「CO2フリーの循環型地域社会づくりに向けたエネルギービジョン」を基に、ポテンシャルの高い再エネを積極的に導入していくことを目指し、「将来へ向けたイメージの具体化・明確化」や「ステークホルダーとの連携による体制づくりの構築」等を進めるため、より実践的な戦略計画を作成する。
総事業費	38,264,800円
補助金充当額	38,264,800円
事業終了時点で達成すべき成果目標【必須】 (提案書から転記)	ビジョンに基づく戦略計画の策定、年度ごとのCO2削減目標の設定、令和7年度以降実施予定のFS調査内容の策定
事業終了時点で達成すべき成果目標の達成状況【必須】	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和5年度に策定した「CO2フリーの循環型地域社会づくりに向けたエネルギービジョン」を踏まえ、「将来へ向けたイメージの具体化・明確化」や「ステークホルダーとの連携による体制づくりの構築」等を進め、再エネを活用したまちづくりを有効かつ効果的に進めるための「まちづくり戦略」を作成した。</li><li>・使用エネルギーや対象施設など再エネ導入について検討を行い、CO2の削減量、経済性、BCP強化など評価の高い地区とした「再エネ導入モデル地区」を設定し、再エネとして太陽光発電を導入する計画を作成した。</li><li>・水揚量の減少や磯焼けといった本町の課題解決に向け、再エネを活用したノリ、コンブ、ワカメといった海藻類の陸上養殖・海面養殖の実施を目指し、実証試験を進めるための実施計画を作成した。</li></ul>
事業終了後、将来的に達成すべき成果目標【任意】 (提案書から転記)	
事業終了後、将来的に達成すべき成果目標の達成状況【任意】	

補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約  (※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)	契約(間接補助)の目的	再エネによるマイクログリッド等導入戦略策定業務委託
	契約の方法	指名競争入札
	契約の相手方(間接補助先)	北電総合設計株式会社
	契約金額(間接補助金額)	38,060,000円
来年度以降の事業見通し	<p>令和6年度に策定した「まちづくり戦略」に基づき、具体的な実践を図るための調査・検討・設計・実証試験等を進め、「CO2フリーの循環型地域社会づくりに向けたエネルギービジョン」の実現を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再エネの地産地消の実現化を目指し、令和6年度に設定した「再エネ導入モデル地区」への太陽光発電の導入と高圧マイクログリッドの構築に向けた実施設計を行い、同時にそのために必要な許認可や一般電気事業者との接続検討を進める。</li> <li>・海藻類陸上養殖・海面養殖の太陽光発電を導入した育苗施設を整備し、ノリ・コンブ・ワカメといった海藻類陸上・海面養殖の実現化へ向けた生育、再エネ導入効果、マーケティング調査等の実証試験を進める。</li> <li>・温泉熱を活用した化石燃料に頼らない温泉施設の実現や、温泉を主体とした観光リゾート等の検討に向け、新たな泉源開発のための地熱井掘削に向けた調査を進める。</li> <li>・再エネの活用や地域の優位性などによる新たな産業の創出や企業誘致を目指し、オフグリッド型宿泊施設、ウニ陸上養殖工場、データセンター等の誘致の可能性や町にもたらされる効果について検討を進める。</li> </ul>	

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 事業終了時点で達成すべき成果目標の欄、事業終了後、後年度で達成すべき成果目標には、それぞれ、補助金応募申請書提出時に設定した、「①事業終了時点で達成すべき成果目標」、「②事業終了後、後年度で達成すべき成果目標」の記載を転記すること。
- 3 事業終了時点で達成すべき成果目標の達成状況、事業終了後、後年度で達成すべき成果目標の達成状況の記載については、それぞれに対応する形で、成果目標の達成状況及び達成状況についての評価を記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。